

# 国際協議会報告

ガバナーエレクト

**泉 博朗** (大阪帝塚山RC)

日時：2014年1月12日～1月18日

場所：アメリカ カルフォルニア州 サンディエゴ市

会場：マンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴ・ホテル

次年度RI会長：ゲイリー・C.K.ホアン(黄 其光)(台北RC)



気温20度と言う清々しい気候の中、全世界から537地区のガバナーエレクトおよびその配偶者の方々が集い、ガバナー研修を受けました。すべてのイベント、宿泊、食事に至るまでホテルの中で執り行なわれました。基本的に、毎日朝、本会議(全体会議で同時通訳)そして地域別、GE、配偶者別々に分かれてそれぞれ研修を受けました。34地区ある日本人グループは2つに別れ、ご婦人方も同様にそれぞれ研修を受けました。講師は、私達より1週間前に到着し、講師として特訓を受けたパストガバナーの皆様でした。時には厳しく、時には丁寧に、ガバナーとしてのあり方を教育していただきました。いろいろな問題について順番に発言を求められ、また、2～4人のグループで話し合うなど気を抜く暇もなく、あっという間に時間が過ぎていきました。ご婦人方のグループも同じようなことであると聞きました。大変よかったことは同期のDGEの皆様のお話を聞くことができたことです。午後からも本会議、地域別会議とあり、しばらくして、夕食という毎日でありました。途中1日だけ昼から休暇がありましたが、ちょっと休憩しているとあっという間に時間が過ぎあわてて近くのスーパーに買い物に行ったぐらいのことでした。

2日目の1月13日、いよいよ、RI会長エレクトのゲイリー・ホアン様から、次年度RIテーマが発表されました、それは「LIGHT UP ROTARY」「ロータリーに輝きを」であります。それは孔子の「ただ座って暗闇を呪うよりも、ロウソクを灯した方がいい」という言葉から考えられたとのこと。「世界に問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。しかし、「自分に出来ることはない」と言って、何もせずにただ座っている人が大勢います。これでは、何もかも暗闇のままです」とホアン様は続けられました。この様子はURLを「ロータリーに輝きを My Rotary」で検索していただければrotary.orgでテーマ発表の様子が動画で見ることが出来ます。

同期のDGEの皆様とはいろいろ情報を交換いただきましたが、我が2660地区のスーパーぶりがかえってよくわかりました。このように重たい荷物を背負ってい

るのかと思うと益々と意欲が出てきました。これは、ロータリーマジックと言って、そのように演出されているのだと言うことを、帰国後、パストガバナーに教えていただきましたが、まだその炎は消えていないようであります。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトはロータリーの実施を提唱されています。是非とも、ロータリーの認知度の向上のために、実施したいと考えておりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

私の役割は、クラブの活性化であり、会員の増強であります。ロータリークラブも組織である以上、その結束は強く、適正な増強が必要であります。また、ロータリーには明確な「目的」が掲げられております。それは「友好」と「奉仕」であります。国際協議会においても、多くのパストRI会長の方々から、ロータリーの感動のお話がありました。決して魔法の杖があるわけではありません。帰国後には「PETS」「地区研修協議会」と次年度のための行事が待ち受けています。「ロータリアンの皆様お一人お一人の輝きでロータリーが輝き、全世界が明るくなった」と思ったら、成田空港に着いておりました。

